

令和３年度 第２回 東成区区政会議（保健福祉部会）

1 開催日時 令和３年12月21（火） 19時00分から20時08分まで

2 開催場所 東成区役所 102・103会議室

3 出席者の氏名

【委員】

若村 幸枝（部会長）、小泉 いと子（副部会長）、石川 ヤエ子、岩崎 忠美、
大西 田鶴子、小山 積、辻本 美知子、東 寿美子、三浦 秀章、宮居 康夫

【東成区役所】

御栗 一智（東成区長）、平田 忠弘（東成区副区長）、奥本 秀樹（総合企画担当課長）、平井 和人（保健福祉課長）、世古 美弥子（児童・保健担当課長）、
遠藤 裕介（総合企画担当課長代理）、三上 有香（保健福祉課長代理）

4 委員に意見を求めた事項

- ・次期東成区将来ビジョンについて
- ・令和４年度東成区運営方針（素案）について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○遠藤総合企画担当課長代理 皆様、本日はお忙しい中、東成区区政会議保健福祉部会に御出席を賜りまして、ありがとうございます。

ただいまから令和３年度第２回東成区区政会議保健福祉部会を開催いたします。

私は、東成区役所総務課総合企画担当課長代理の遠藤でございます。部会長及び副部会長選出までの間、進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず冒頭に、区長の御栗より御挨拶させていただきます。

○御栗区長 皆さん、こんばんは。区長の御栗でございます。本日は師走のお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

この10月1日をもちまして、改選の手続をさせていただき、今回が委員改選後、初めての保健福祉部会となります。保健福祉部会では、新たに8名の方に区政会議委員を担っていただくことになりました。継続の方も新規の方も委員の任期は2年となりますが、何とぞよろしくお願いいたします。

さて、保健福祉部会では、健康づくりや御高齢の方々、障がいをお持ちの方々などへの見守りの分野につきまして、御意見や御提案をいただく会議でございます。本日の議題は、来年度の運営方針と4年間の将来ビジョンになります。ビジョンは来年度スタートで、2025年が最終年度となります。2025年は、大阪・関西万博の開催とともに、万博の主要テーマであり2030年がゴールのSDGsの中間地点でもあります。また、区政100周年の節目の年に当たります。人生100年時代、新型感染症、気候変動といった足元の大きな変化をしっかりとふまえながら、皆様から忌憚のない御意見をいただき、区政運営の参考とさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上で簡単ではございますが、開会の御挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。

○遠藤総合企画担当課長代理 本日の保健福祉部会の開催状況でございますが、委員定数14名中10名の委員の御出席をいただいておりますので、本部会が有効に成立している旨、御報告申し上げます。

それでは、資料の確認をさせていただきます。

まず、事前にお送りさせていただきました資料として、次第が本日の部会と金曜日の全体会のものをそれぞれ一部ずつ、資料1として次期東成区将来ビジョン（素案）—ROAD TO 2025—概要版、資料2として次期東成区将来ビジョン（素案）—

ROAD TO 2025ー、資料3として令和4年度東成区運営方針（素案）概要、資料4として令和4年度東成区運営方針（素案）市様式、資料5として全体会欠席者の方用の議題に対する質問・意見票です。

次に、右肩に参考資料と記載しております資料の補足をさせていただきます。ページ1から4ページは名簿、5ページは令和2年度東成区区政運営にかかる区政会議委員評価（報告）です。前年度の運営方針の取組み実績について、改選前の委員よりいただいた評価を取りまとめたものです。6ページから7ページまでは、区政会議委員アンケート集計結果です。アンケートは、区政会議の効果的な運用を行うために毎年実施しているもので、こちらも改選前の委員を対象に実施したものです。このアンケートでいただきました御意見をふまえて、よりよい会議運営方法に取り組んでまいります。8ページは、9月に中止となった区政会議について、書面によりいただいた質問・意見に対する回答をまとめたものです。続いて9ページから10ページまでは、地域活動協議会の主な活動紹介です。11ページは、東成区主催・共催イベントカレンダーです。御関心のあるイベント等がございましたら、広報紙「ひがしなりだより」やホームページをご覧くださいの上、ぜひ御参加いただきたいと存じます。

次に、机上に配付しました配席図です。

資料は以上となりますが、不足はございませんでしょうか。

不足がないようですので、進めさせていただきます。

本日は、10月1日から2年間を任期とする新体制となって最初の区政会議保健福祉部会となります。区政会議は、区民の方々が区の行政運営に参画する仕組みです。区長が区の行政運営に当たって、計画段階から幅広い分野の区民の方々の意見を伺い、施策を推進していくこととしています。また、区政会議では、テーマに基づいて3つの部会を設けており、この保健福祉部会では、健康づくりに関すること、高齢者・障がい者等への見守りに関することについて専門的な意見交換を行うこととしています。

それでは、委員の皆様の紹介させていただきます。

本日は、時間の都合がございますため、資料に基づきまして名簿の確認で出席者の皆様の紹介に代えさせていただきます。

では、事前送付資料がございます参考資料 4 ページをご覧ください。

保健福祉部会の委員の皆様です。

続きまして、本日お配りしました配席図をご覧ください。

本日の欠席の委員につきましては、配席図の下部に記載しております。

続きまして、区役所職員の紹介です。

こちら先ほどと同じく、配席図の確認をもちまして紹介に代えさせていただきます。

続きまして、会議の進行上の注意事項を申し上げます。

まず、当区政会議の部会は、条例により公開することとなっておりますので御了承をお願いします。区役所で会議の記録を残しておくため、広報担当者を決めております。広報担当者によります会議中の撮影につきましては、御了解をいただきたいと思います。撮影した写真は、区の広報で使用させていただきますので御了承願います。

また、本日の会議内容は後日、議事録を公開する予定でございます。

続きまして、新型コロナウイルスに関する御協力をお願いします。

感染拡大防止の観点から、会場内の換気として扉の開放等を行っておりますので、御理解いただきますようお願いいたします。なお、会議中、体調がすぐれなくなった場合等は、御遠慮なくお申し出ください。

最後に、会場にお越しの皆様をお願い申し上げます。携帯電話は電源をお切りいただくか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。また、会場内での通話は御遠慮いただきますよう合わせてお願いいたします。

冒頭の説明にもございましたが、10月 1 日から新体制となったことに伴いまして、各部会の進行役についても新たに皆様の中からお選びいただくことになっております。保健福祉部会長、副部会長を新たに皆様の中からお選びいただきます。どなたか立候

補または推薦などありますでしょうか。

大西委員。

○大西委員 部会長に東成母子会、若村委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○遠藤総合企画担当課長代理 ただいま大西委員から、部会長に若村委員を御推薦の声がありました。皆さんいかがでしょうか。

続いて、副部会長の選出です。

宮居委員、どうぞ。

○宮居委員 副部会長に深江地域の小泉委員を推薦させていただきます。

○遠藤総合企画担当課長代理 今、副部会長に小泉委員を御推薦の声がありました。皆さんいかがでしょうか。御異議がなければ、拍手をもって承認いただきたいと思います。

(拍手)

○遠藤総合企画担当課長代理 ありがとうございます。異議なしの拍手がございましたので、若村部会長、小泉副部会長のお二人には、今期2年間どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、部会長に今後の議事運営をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。どうぞ、進行役の座席にお座りください。

○若村部会長 こんにちは。本日はお忙しい中、師走の中お集まりいただきまして、ありがとうございます。ただいま御推薦いただきました若村でございます。小泉副部会長ともども頑張ってまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、小泉副部会長、一言お願いいたします。

○小泉委員 皆様、こんにちは。ただいま御推薦いただきました小泉でございます。若村部会長様とともに共生社会に向けて努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○若村部会長 それでは、令和３年度第２回目の保健福祉部会の議事に入りたいと思います。

この部会は、健康づくりや高齢者・障がい者等の見守り支援の分野において、皆様方が意見や提案を述べる会議ということになっております。皆様方から忌憚のない御意見や御提案をしていただき、今後の区政運営の方向性について考えていく大切な場となります。できるだけ前向きな御意見をいただき、有意義な会議にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

早速ですが、本日の議題について、区役所の方より御説明を受けていきたいと思っております。

議題１の次期東成区将来ビジョンについてと議題２の令和４年度東成区運営方針（素案）についてを続けて御説明していただき、その後で皆様の御意見を頂戴したいと思っております。

なお、御意見や御質問をお聞きする時間では、前半15分程度の勉強会として議事録に残さない自由な意見交換が行える時間を設け、その後、部会としての意見をまとめていきますので、御協力の方よりしくお願いいたします。

それでは、御説明の方よりしくお願いいたします。

○奥本総合企画担当課長 皆さん、こんばんは。総合企画担当課長、奥本でございます。

議題１の東成区の将来ビジョンにつきまして、失礼ですけど座って説明させていただきます。

まず、お配りしている資料をご覧ください前に、東成区の将来ビジョンと東成区の運営方針の関係性について、御説明を差し上げます。

東成区将来ビジョンは区政の中長期的な計画といたしまして、東成区の将来像とその実現に向けて、区政の施策展開の方向性を示しているものでございます。現行のビジョンは、2018年度からスタートしておりまして、今回の改定では2022年度から2025

年度までの施策展開の方向性などについて記載をしております。

一方、東成区運営方針は、このビジョンを推進するに当たりまして、区役所の取り組みを具体化し、成果目標を定めPDCAサイクルを回すために活用する行動計画、アクションプランとして毎年作成しているものでございます。大まかに申し上げれば、中長期的な計画であるビジョンに基づいて、その年の具体的な取組みをまとめたものが運営方針という形になります。

では、東成区将来ビジョンの素案につきまして、説明を差し上げます。時間の都合上、概要版で説明をいたします。A3横長の東成区将来ビジョン（素案）概要版をご覧ください。こちらのものでございます。よろしいでしょうか。

まず、区の将来像でございます。区の将来像は、上段真ん中に記載をしておりますけれども「暮らしやすいまち みんなでつくろう ひがしなり」としております。

左側です。

区の目標、何をめざすのかでございますが、人生100年時代を迎え、大きな環境変化、少子高齢化やコロナ、大規模災害などを常に意識し、区民と区役所が手を携え、より区民に身近な総合行政拠点をめざします。また、笑顔があふれるまち、安全で安心して暮らしやすいまちをめざしてまいります。

右側です。

区の使命、区役所はどのような役割を担うのかですが、区民の皆さんの声を丁寧に聞き、地域活動の課題を多方面から把握し、関係者間の連携を強化することで、区民主導の地域活動を促進します。また、行政による支援が必要な領域を適切に見極め、あらゆる行政機能を活用して課題解決に迅速に取り組みます。

次に、施策展開の方向性ですが、4つの柱、4本柱で構成をされています。1安全で安心なまちづくり、2教育・子育て環境の整備、3地域における協働による保健・福祉への取り組み、4人生100年時代における区民主体のまちづくりの推進の4本柱です。部会の所管事項といたしましては、にぎわい・きずな部会が1の安全で安心な

まちづくりと4の人生100年時代における区民主体のまちづくりの推進、子ども・教育部会が2の教育・子育て環境の整備、そして本日の保健福祉部会が3の地域における協働による保健・福祉への取組みとなっております。

では、保健福祉部会が所管をいたします3の地域における協働による保健・福祉への取組みのところをご覧くださいませでしょうか。

1つ目です。新しい生活様式をふまえ、地域の実情や要支援者のニーズに応じた地域福祉の取組みを充実してまいります。また、3つ目です。区民や地域による主体的な健康づくりや病気の予防等、健康寿命の延伸に向けた取組みを推進してまいります。

以上が簡単ではございますが、区将来ビジョンの概要でございます。

引き続きまして、東成区運営方針につきまして説明をいたします。

○平井保健福祉課長　皆さん、こんばんは。保健福祉課長の平井と申します。よろしく申し上げます。座って説明をさせていただきます。

資料の方は資料3ということで、先ほどの将来ビジョンの次についている運営方針（素案）の概要版というのを見ていただけたらと思います。

ページはその裏面の方になりますが、24ページと書かれているところが、保健福祉、地域福祉の推進とか健康づくりの推進というふうに書かれているところが該当する箇所になります。よろしいでしょうか。

この地域福祉の推進につきまして、私の方から御説明をさせていただきます。

その目的としまして、誰もが自分らしく安心して暮らし続けられる、24ページのところになります。裏面の方になります。経営課題3というところです。皆さん、大体分かりましたか。

誰もが自分らしく安心して暮らし続けられるよう、地域全体で見守り支え合う体制づくりの取組みとして、ここに書かれているような取組みを来年度の運営方針として進めていきますというふうなことでございます。

1つ目のポツに、地域の身近な相談窓口として地域福祉活動サポーターを配置させ

ていただきまして、要援護者への支援コーディネートや地域福祉活動の活性化を行うこととしております。2つ目に、地域の支援者あるいは専門職、そして行政等の連携を促進・強化しまして、地域全体で見守り支え合う仕組みづくりや取組みを支援してまいります。そして、今現在ちょっとましにはなっているところではありますが、コロナ禍で皆様いろんな活動が大きな制約を受けておられるところではあると思うんですが、地域の様々な支援活動ということで工夫をされながらいろんな相談活動や、あるいは食事サービスであれば配食に切り替える等の工夫をなされながら見守りという地域の皆さんの相互のつながりづくりや見守りなどにもそういう場を活用されていることと思います。

このような地域での支援活動や見守り活動が一層活発になるように、その理解を深める取組みを支援し、地域福祉に関する情報の発信の充実に取り組んでまいりたいと考えております。

右側の方には、皆様も御存じのおまもりネットの相談会であるとか、最近はスマホを皆様もっておられて、それをどういうふうに活用したらいいのかというようなことがまだよく分からないという方に対してのそういう説明会というか相談をして、せっかく持っているスマホを積極的に活用してもらおうというような、そういうような取組みも地域のほうで行われているところでございます。

私の方からは、以上のとおりです。

○世古児童・保健担当課長 それでは続きまして、私、保健福祉課の児童・保健担当課長の世古と申します。

続きまして、健康づくりのところについて御説明申し上げます。着座にて御説明させていただきます。

資料につきましては、先ほど平井課長が使ったものと同じところの下段です。健康づくりの推進と書かれたところをご覧ください。

私の方からは、健康づくりの推進についての来年度の取組みの方向性につきまして、

資料に沿って御説明いたします。

まず、1項目目にございます小中学生を対象とした食育事業の実施についてですが、背景としまして東成区内の中学生の朝御飯、朝食の欠食率の割合が実は大阪市内平均よりも高い、よくないという状況がございまして、健康づくりの基本であります食生活に関する正しい知識を早い段階から習得していただくことが重要と考え、取り組むものでございます。これにつきましては、東成区食生活改善推進員協議会の皆様にも御協力をいただきながら、小中学生を対象とした食育講座の実施を考えております。実は、今年度もこの取組みさせていただいてるんですが、コロナ禍ではございましたが、区内全ての中学校、4つの中学校で食育講座を実施させていただくことができました。来年度も引き続き取り組んでまいりたいと思っております。

2つ目になります。主に壮年期を対象とした生活習慣病に関するイベントを、食育展と同時に開催してまいります。皆様御存じのとおり生活習慣病の予防や健康寿命の延伸には、やはり40代から64歳という、いわゆる壮年期と言われるような年代からの適切な生活習慣というものが大事であると言われているところですけれども、やはり壮年期の方々やそれより少し若い層といったところも対象に生活習慣病予防をテーマとした健康教育イベントを、食生活の部分を意識していただくためにも食育展と同時に開催していこうと考えております。

また、身近な地域で健康づくりについての理解を深めていただくために、地域の医療や介護の専門職の方々と区役所と連携をしながら、各地域の会館など、身近なところで運動と栄養といった健康づくりに関する啓発講座の実施も考えております。

最後、4つ目になりますが、いきいき百歳体操について、コロナ禍におきましては、感染防止の観点からこの間、参加人数の分散化といったような工夫をしていただきながら、各地域の実情に合わせた形で少しずつ再開していただいております。いきいき100歳体操が、地域の実情に合わせた形で自主的・主体的に運営をしていただけるよう、区役所としましては引き続き地域の皆様と連携をしながら定期的な保健師の訪問

であったり、理学療法士、健康運動指導士といった専門職の方々のフォローアップの機会も設けながら皆さんに継続的な参加が皆さんにしていいただけるよう支援を行っていきたいと思っております。また、参加者の増加に向け、百歳体操の効果や開催会場の周知や啓発に取り組んでまいりたいと思っております。

私の方からは、以上でございます。

○若村部会長 ありがとうございました。ただいま区役所の方より次期東成区将来ビジョンについてと令和4年度東成区運営方針（素案）についての御説明がございました。

まず、自由な御意見の交換の時間として、勉強会を15分程度行いたいと思います。勉強会の間は議事の記録はいたしませんので、各課題についてもう少し詳しく御説明をお聞きしたい場合や、もっとこうすればよくなるのではというような前向きな御意見をどしどし出していただければと思います。そして、自由な意見交換ができましたら、最後に部会としての意見集約をしていただきます。

それでは、ただいまより勉強会をはじめたいと思います。

<部会での自由な意見交換>

○若村部会長 それでは、意見を整理したいと思うのですが、まず地域福祉の推進についてと健康づくりの推進についてと2パターンといいますか、分けて考えたいと思いますが、読み上げさせていただいてよろしいのでしょうか。

地域福祉活動を知らない人もいますので知ってもらうことが非常に大事だということです。道路と歩道の縁石が危険で危ない。公園のベンチが減っているのが困る。ヤングケアラーの問題。8050の問題。男性独居高齢者が引きこもりがち。認知症で歩くことが大切。東成区の地域として共生社会を目指しましょうということですね。

それから、食育展に合わせて栄養相談。出来合いのものでよりよい食事。いきいき

100歳体操、これも男性が少ないということですね。コロナ禍で検診者が減少している。食育、子どもの時からというのが非常に大事だということで、という御意見が出ました。

この中から、まずどうさせていただいて。全部本当は御意見出していききたいところなんです、余り多くてもだめなようなので、2つぐらいにまとめたらよろしいんでしょうか。どうさせていただいたらよろしいでしょうか。地域福祉としましては、この辺でしょうか。福祉の問題といいますと、ヤングケアラー。まず、地域福祉活動、本当に御存じじゃない方が多いということ、どうやって皆さんにお知りいただくかというのがすごい大切だなと思うんですが、皆様、何か一言御意見がございましたら、これがいいんじゃないかなというのが、どうでしょうか。

どうぞ。

○大西委員　地域福祉を知らない人に知ってもらおうというのは、ヤングケアラーの問題にもつながって、ヤングケアラーはこんなサービスがあるよ、援助する人がいるよということを全く知らないからヤングケアラーになってはるんです。だから、一番もとにいくのは、やっぱり知らない人も知ってもらおうというところではないでしょうか。

○若村部会長　そうですね。知ってもらおうということが、非常に何でも大切。すごく自分一人で抱え込んでらっしゃる方が多いです。区役所内どこかに御相談に行けるという方は、まだ大丈夫なんです。ただおうちの中にこもって本当にどうしていいかが分からないという方がいらっしゃるのは、どうすればよろしいんでしょうか。だから、どうやって知ってもらえばいいかなというところで。なかなか非常にこれは難しい問題です。東成区ではなくて今すごく問題になっているところでもありますので、そういうところを掘り下げたらよろしいでしょうか。

○三浦委員　いろんな方法ってあると思うんです。例えばネットや広報紙。でも、多分見てる人は本当に限られてて、すごく単純なことなんです、小さな世話を焼く。

やっぱり虐待とかでもそうですけど、ちょっとおかしいよとか、ちょっと何かあそこずっとお年寄りはいてるが誰か他にもいそうみたいなことを民生委員さんとかとつなげるとかっていう一言するのが一番つながることなのかなって思います。介護とかでも相談来る人よりも、あの人困ってそうやから介護保険を受けたらというのはよく相談としての手順としてあるので、何かちょっとした僕もマンション住まいなのでマンションの自治会とかでちょっと最近出てこないよねとか、東成は多分すごく下町のいいところがあるので、ちょっとしたお世話焼きみたいなのが必要な。

あと、ヤングケアラーのことはやっぱりこの間もすごく話題になったんですが、養護のところに行く子どもさんが御飯を食べてないってなった時や途中でしんどくなってしまうってなった時に、学校へ行っていれば養護の部屋というか、に行くので、せっかく学校でやられてたのでその連携とかをとっていかれて、もしかしたらあの御家庭、御飯食べれてないかもとかなった時の裏が実をいうと自分で例えば親のケアをしてる、おじいちゃんおばあちゃんのケアをしている、兄弟のケアをしているや、もっと貧窮していてそういう状況にないというのが分かるのかなというのは、この間、研修などでそういう話を聞いたので、やっぱり学校との結びつきや地域で、もしかしたら医療機関には行けてたりするんであれば、医療機関との結びつき、あとは行けるところにパンフレットなり置いて、こういう問題があったら区役所に相談してくださいみたいなのと、区役所の電話や場所とかを簡単なリーフレットなどを置くだけでも少しはつながっていくというのと、あとは地域で支えていくという意味では、地域の目で見ていって、ちょっと気になったら相談しましょうみたいな形でみんなでやっていくのが一番いいのかなと思いました。

すみません。長くなりました。

○若村部会長 ありがとうございます。そうですね。本当に昔の方は世話を焼く方がすごく多かった。大阪のおばちゃんみたいな形で、そういう人がやっぱりいるといかないのとでは大きな違いかなと思います。誰か最近見ないなと思うと、おうちへ行っ

て、どうしてるのというような方がいらっしゃると、大変心強いかなという思いがいたします。ですが、その地域福祉活動を知らない人にも知ってもらおうというので、この辺の問題と合わせて近い人がちょっと世話を焼くというところからパンフレットとかも冊子でいただくということで、それを1つメモをさせていただいて、もう一つ福祉の方としてはどうですか。全部つながってまいりますものね。何か1つのことから。男性の独居高齢者。男性っていうのが出てるんですけど、なかなか。食事サービスとかは今は中止になってるんですが、各校下でされてる場合、男性の方は食べに来られてましたか。

○大西委員　　深江の場合は今、配食になっておりまして、全部取りに来られますから。

○若村部会長　　ちょろっとそういうところにも出て来ていただくとか、そういうのが非常に大事かなと思います。

○小山委員　　人数は減ってますけど、年々。お年寄りになってきて新陳代謝というか、若い方が。年齢の入れる状態の若い方が少なくなって、今までの方が遠ざかっていくという状態で、男性なんか特に。

○若村部会長　　御自宅からいらっしゃらなくなるとかおっしゃる、施設に入られるとかいうのも多くなっているとお聞きしてます。

どれか項目として挙げた方がよろしいのでしょうか。

○事務局　　今のような形で大丈夫です。全然大丈夫です。

○若村部会長　　大丈夫ですか。申し訳ない。

それと健康づくりの推進についてということで、2つぐらいということです。健康づくり、やはりこの食育っていうのが非常に大事かなと思います。やはり小さい時からちゃんとした食育の学校などで幼稚園からされてるということで、小学校、中学校と耳から聞いてというのはすごくいいことだと思います。食育。

いきいき100歳体操とかも、各校下で今されております。徐々にしていってらっし

やいますか。

○世古児童・保健担当課長 区内で大体コロナ前につきましては25グループぐらいあったんですが、やはり一時期はほとんどが中断されたんですが、今現在大体19グループぐらい再開してくださっています。やはり再開していただく時に、皆さんいろんな不安があるかと思いますので、例えば保健師の方が感染の防止状況について助言させていただいたり、今まで全然動くことがなかった中で急に運動負荷をかけてしまうとお体にも影響を及ぼしてはいけないので、できるだけ早い段階で理学療法士であったり、運動士さんというふうな専門職の方にも100歳体操の場においていただいて、ちょっとお声かけをしていただくというふうな形で後方支援をするような状況で今、徐々に始まっているという状況です。

○若村部会長 ありがとうございます。やはり男性の方だけで地域でされていたという、男だらけの何とかという、健康講座みたいなのをされていたという。そういうのも女性がいらっしゃると行きにくいわという男性もいらっしゃるのかも分からないので、また続けていっていただければと思っております。

こんなものでよろしいのでしょうか。

それでは、皆さん有意義な御意見ありがとうございました。円滑な議事運営に御協力いただきまして、本当にありがとうございました。非常に東成区ですずっと暮らしていきたいなと思っておりますので、皆さんと共々いい東成区になればいいなと思っておりますので、皆さん、また御協力の方よろしく願いいたします。ありがとうございました。

本日の議題は以上で終了いたしますので、区役所の方に御進行をお返しいたします。ありがとうございました。

○遠藤総合企画担当課長代理 皆さん、お疲れさまでした。スムーズな議事進行に御協力いただきありがとうございました。以上をもちまして、本日の議事を終了させていただきます。

本日、皆様方からいただきました御意見につきましては、区政会議全体会において若村部会長より御報告していただきたいと思います。

最後になりましたが、24日14時からコミ協東成区民センター2階大ホールにおきまして、区政会議全体会を予定しておりますので、御出席方よろしくお願いいたします。また、全体会で使用します資料は本日と同じものを使用しますので、当日お持ちいただきますよう、合わせてお願いいたします。

これをもちまして、終了をさせていただきます。どうもありがとうございました。